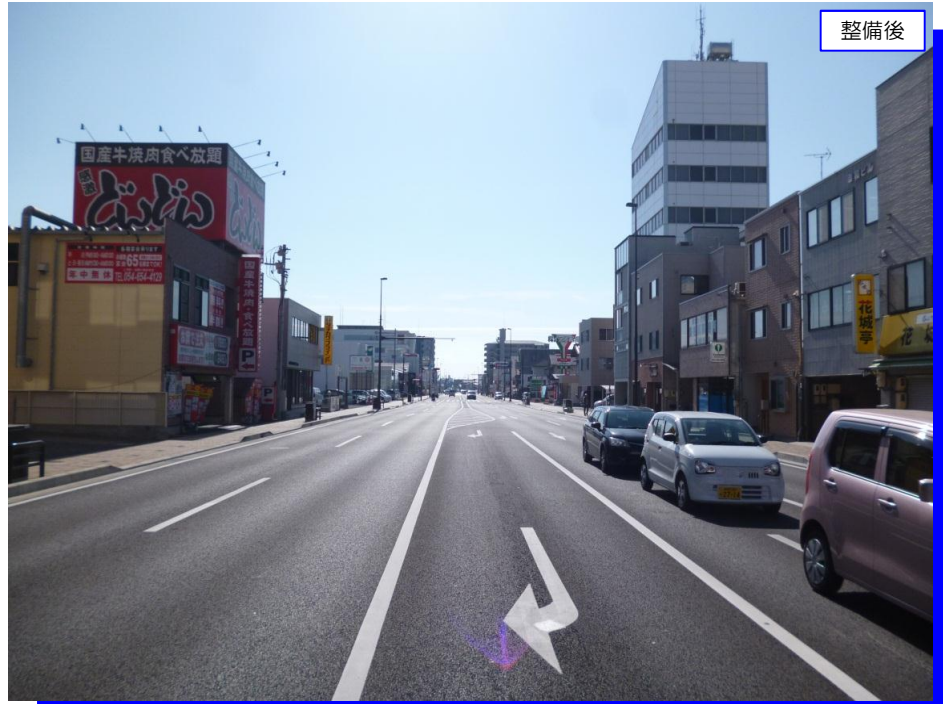


# 無電柱化への取り組み

～安全・快適な道をめざして～



住所：静岡市駿河区石田一丁目  
道路名：(市)静岡下島線



住所：静岡市清水区(鶴舞町)  
道路名：国道1号



## 電線共同溝

【出典：国土交通省HP】

# 無電柱化・電線共同溝とは何ですか？

「電線共同溝は、電柱をなくし、ゆとりある歩行空間をつくる」

ことを目的として、整備されています。

歩道は普段生活をするうえで、必要不可欠な空間です。

その歩道には、各家庭への電気や電話の線を支える電柱があり、台風や地震の時に電柱が倒れたりして真っ暗な夜を経験された方もみえると思います。電線共同溝は、そんな電気や電話の線を歩道の下にまとめて収容することにより、町並みをスッキリさせ、電柱が倒れたり電線が切れたりする心配をなくします。

歩道に立ち並ぶ電柱、張り巡らされた電線、なんとかして～！



電柱があると歩きにくい。

電柱は歩道スペースを狭くし、通行の障害となり、高齢者や車いすも安心して通行ができません。



通行時見通しが悪い。

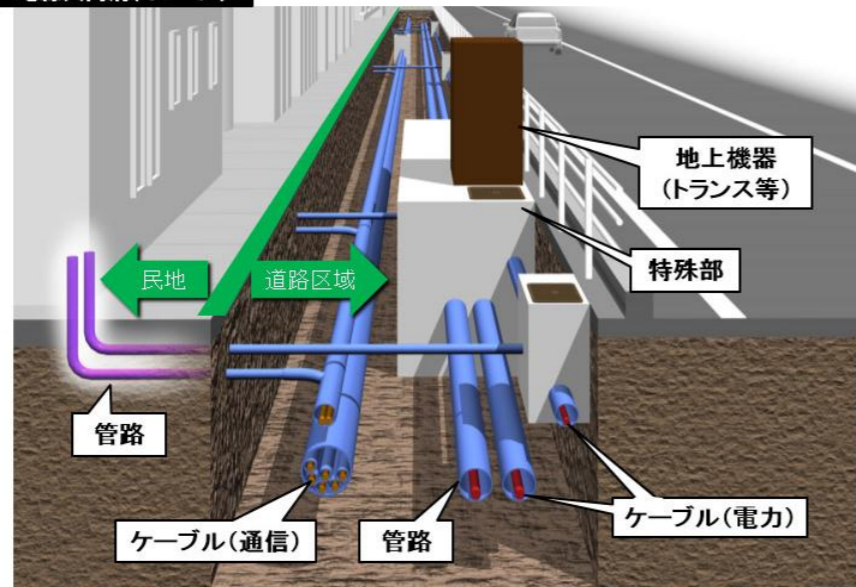
電柱や電線は通行時の見通しを悪くする他、都市の景観を損なっています。



災害時、そのとき電柱が！

大地震のとき、電柱が倒れて道路を通行できなくなったり、電線が垂れ下がって危険です。

電線共同溝(イメージ)



地下にまとめて収納

# 過去に起きた災害で・・・

実際過去に起きた自然災害において、相当数の電柱が倒壊しました。

災害	年月	名称	電柱の被害状況
地震	1995年1月	阪神淡路大震災 (兵庫県南部地震)	電力: 約4,500基 通信: 約3,600基 (供給支障に至ったもののみ) →倒壊した電柱や電線が道路の通行を阻害。生活物資の輸送に影響を与えたほか、緊急車両の通行にも支障。 
台風	2003年9月	台風14号	宮古島市全体 電柱800本 →倒壊した電柱により、通行不可箇所が多数発生 
津波	2011年3月	東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震)	電力: 約28,000基 通信: 約28,000基 (供給支障に至ったもののみ) →断線した電線が災害直後の道路の啓発作業を阻害 
竜巻	2013年9月	—	埼玉県越谷市 46本 千葉県野田市 5本 

大震災が起きたときのデータをみると、架空線と地中線との被害状況を比較すると阪神・淡路大震災のときで1/80、東日本大震災のときは1/25の比率と、圧倒的に地中線化のほうが、被害状況が少ないことがわかります。

		供給支障被害状況(被害率)		比率 (地中線/ 架空線)	設備被害状況 (電柱の倒壊等)
		地中線	架空線		
阪神・淡路大震災	通信	0.03%	2.4%	1/80	約3,600本
	電力	4.7%	10.3%	1/2	約4,500本
東日本大震災	通信	地震動IIア : 0.0% 液状化IIア : 0.1% 津波IIア : 0.3%	地震動IIア : 0.0% 液状化IIア : 0.9% 津波IIア : 7.9%	1/25	約28,000本
	電力	(データなし)	(データなし)	—	約28,000本

# 無電柱化（電線共同溝） 4つの柱

道路の無電柱化は、特に地震の多い日本では、防災面から、無電柱化は重要です。こうしたことから、国は、「安全で快適な通行空間の確保」「都市景観の向上」「都市災害の防止」「情報ネットワークの信頼性向上」など掲げています。具体的には、

## ① 安全で快適な通行空間の確保

- 歩道が広く使え、ベビーカーや車椅子の人にも安全で利用しやすくなり歩道空間のバリアフリーという観点からもメリットがあります。

電柱の撤去により幅の広い歩道を整備(イメージ)



整備前



整備後(イメージ)

## ② 都市景観の向上

- 地上にはりめぐされた電線類が地中化などにより見えなくなるため美しい町並みが形成されます。



整備前



整備後

## ③ 都市災害の防止

- 台風や地震などの災害時に、電柱が倒れたり、電線が垂れ下がったりするといった危険がなくなります。倒れた電柱に道をふさがれることがないため災害時の緊急車両の通行もスムーズに。

架空線の撤去により、災害時の緊急交通路を確保[事例:東京都環状七号線]



整備前



整備後

## ④ 情報ネットワークの信頼性向上

- 情報化社会の進展とともに情報ネットワークが広がり、その重要性は高まる一方です。無電柱化としての電線類の地中化は、地震などの災害時に情報通信回線の被害を軽減し、ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。



阪神・淡路大震災



台風

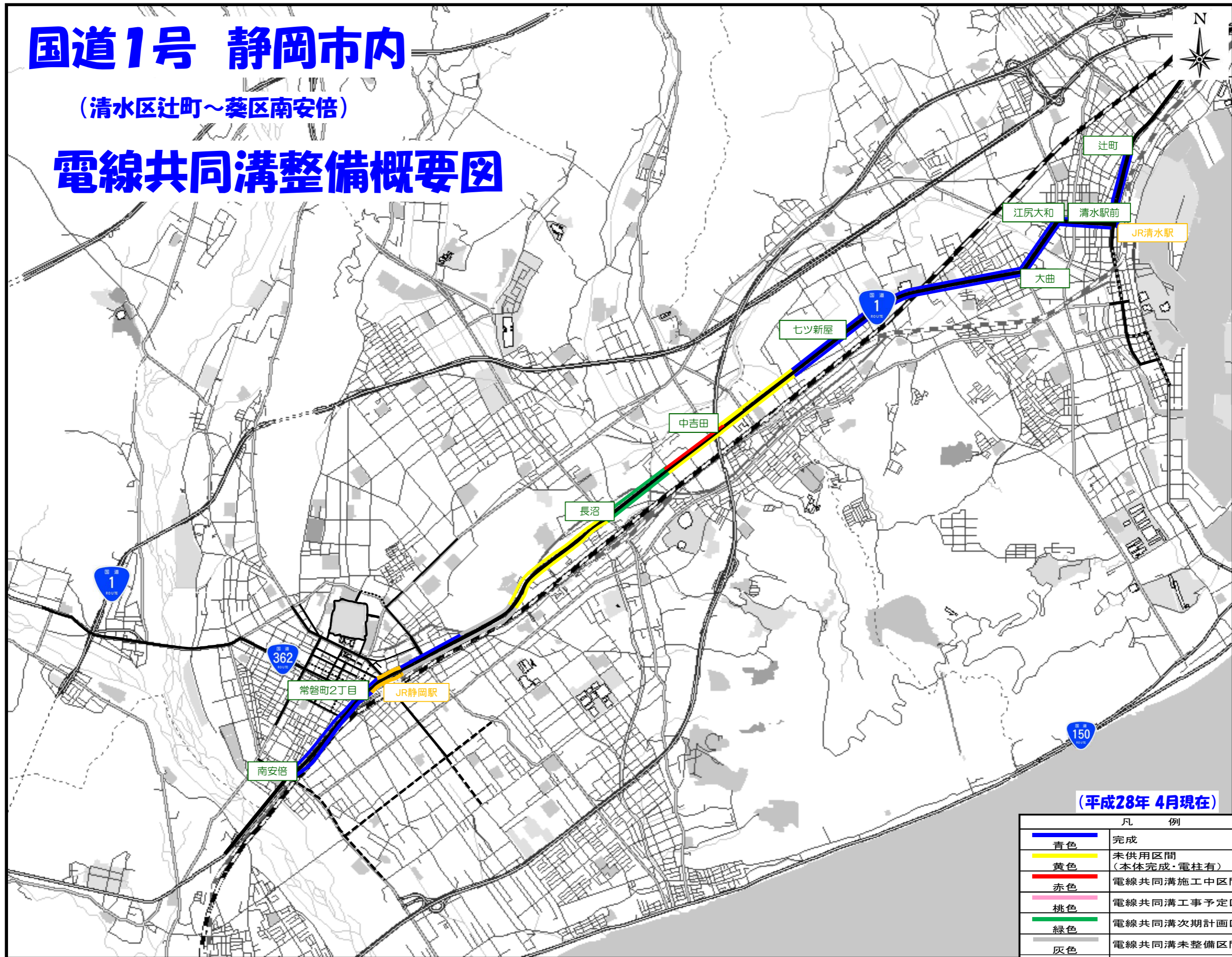


東日本大震災

# 国道1号 静岡市内

(清水区辻町～葵区南安倍)

## 電線共同溝整備概要図



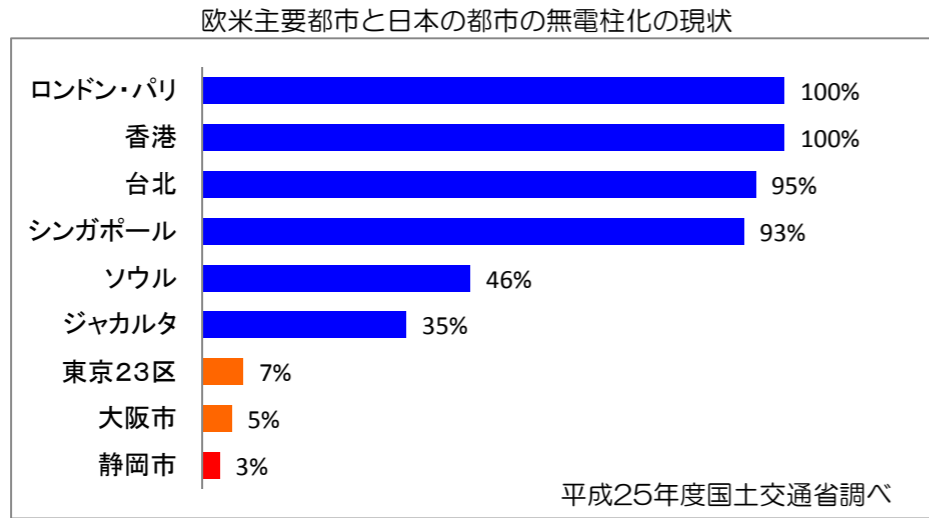
(平成28年 4月現在)

凡 例	
青色	完成
黄色	未供用区間 (本体完成・電柱有)
赤色	電線共同溝施工中区間
桃色	電線共同溝工事予定区間
緑色	電線共同溝次期計画区間
灰色	電線共同溝未整備区間
橙色	無電柱化区間

# 無電柱化の現状とこれから

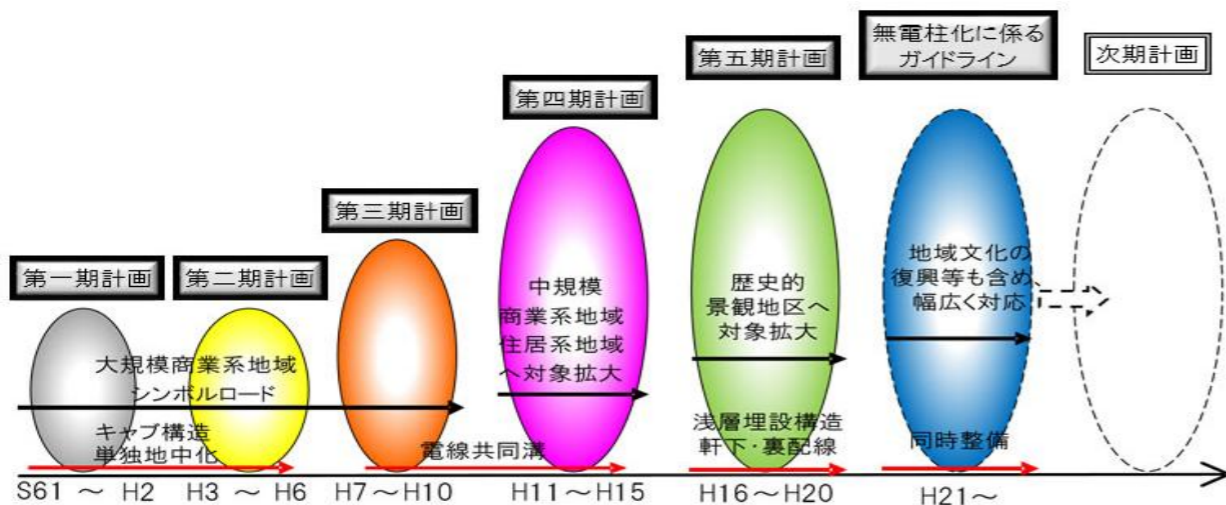
日本の都市に比べ、欧米やアジアの主要都市の方が街並みは美しい。その要因のひとつに、立ち並ぶ電柱と空を横切る電線類がないことがあげられます。

電線類地中化については、昭和61年度から関係者間の協力のもと、積極的に推進してきました。しかし、欧米やアジアの主要都市では無電柱化が概成しているのに対して、日本の無電柱化率は東京23区で7%、大阪市で5%、静岡市では3%と大きく立ち遅れています。



一方近年では、主要な幹線道路の実施にくわえ、歩道空間のバリアフリー化、歴史的街並みの保全、観光振興、地域文化の復興、地域活性等に資する箇所においても無電柱化を実施しています。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れつつ次期計画を検討しているところです。



# ここからは、皆様へお願いです。

工事は、歩道や車道を規制しながら行います。

- 工事は、原則として夜間に行います。
- 規制に伴い、歩道や車道の幅が狭くなっています。

歩いて通る方へ

→ **段差に注意**して、ご通行下さい。

自転車で通る方へ

→ 狭い場所では、自転車から**降りて**通って下さい。  
知ってました? 『静岡市は自転車のまち』って  
マナー向上のためにも、日頃から  
**スピードはひかえめに**お願いします。

お車で通る方へ

→ あらかじめ、時間に**ゆとりを持って**ご通行ください。

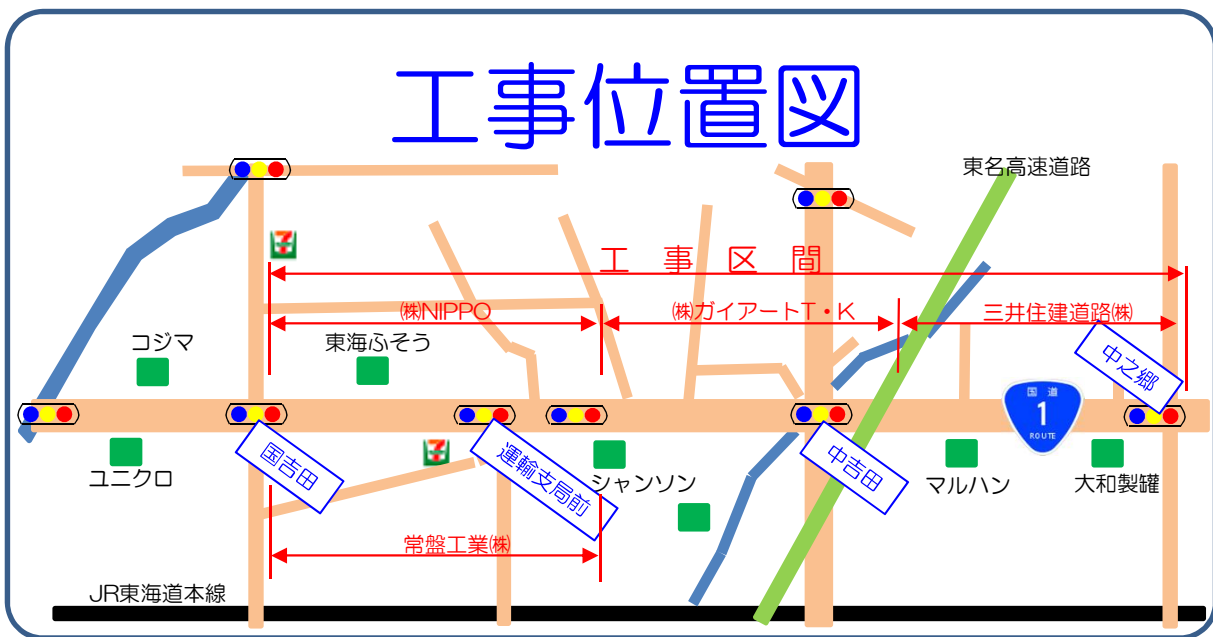
# お気をつけて

工事には、大変時間がかかります。

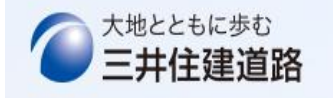
- 電線共同溝工事は、単純に電線などを入れる管路(パイプ)を埋めればいいものではありません。既にある上下水道やガス管などの移動や再整備が必要になります。また、舗装の復旧や美装化も行うため、かなり大掛かりな工事となり、膨大な手間と時間がかかります。ご理解のほどお願い致します。

工事期間中、ご近所の皆様、ご通行中の皆様には何かとご不便をお掛けしていることと存じますが、安全には十分配慮し作業をおこないます。  
ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 工事位置図



平成25年度施工業社



三井住建道路株式会社 中部支店  
住所 名古屋市中区千代田1-16-6  
TEL 052-251-6644



常盤工業株式会社 中部支店  
住所 名古屋市天白区植田3-1504  
TEL 052-803-3431

平成26年度施工業社



株式会社ガイアートT・K 中部支店  
住所 名古屋市中川区露橋2-30-4  
TEL 052-361-3251

平成27年度施工業社



株式会社NIPPO 静岡中央出張所  
住所 静岡市駿河区国吉田2-1-3  
TEL 054-261-2422



発注者

国土交通省 中部地方整備局  
静岡国道事務所 管理第二課  
TEL 054-250-8907  
静岡国道維持出張所  
TEL 054-278-5181